

2015年3月期 第2四半期決算説明会資料

2014.11.13

 三信電気株式会社

代表取締役社長兼COO 鈴木 俊郎

(証券コード:8150)

※ 資料取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因として主なものは以下の通りです。

- 日本・北米・アジア等の経済情勢、消費動向
- 販売先の生産動向や製品開発
- 仕入先の供給状況や製品開発
- 競争激化による価格下落
- 為替相場的大幅な変動等

I . 2015年3月期

第2四半期業績概要

- 売上高は前年同期比+4% (TOY/デジタルAV分野 ▲38%、その他分野 +22%)
- 営業利益/経常利益/四半期純利益とも売上高の増加により前年同期並みを維持

	14/3期 第2四半期 累計実績	15/3期 第2四半期 累計実績	前年 同期比	※ 当初予想	達成率
売上高	963.7	1,002.4	104%	910.0	110%
売上総利益	6.2% 59.4	6.4% 64.6	109%	6.6% 60.2	107%
販管費	4.9% 47.5	5.1% 50.7	107%	5.7% 51.7	98%
営業利益	1.2% 11.8	1.4% 13.9	117%	0.9% 8.5	163%
経常利益	1.3% 12.2	1.2% 12.3	101%	0.9% 8.0	154%
四半期純利益	0.8% 7.8	0.8% 7.9	102%	0.5% 5.0	159%
換算レート (1米ドル)	¥98.85	¥103.04	増減 +¥4.19	¥100.00	増減 +¥3.04

※①第2四半期累計:4月1日~9月30日

※②当初予想は2014年5月14日(2014年3月期決算短信)に発表した予想数値

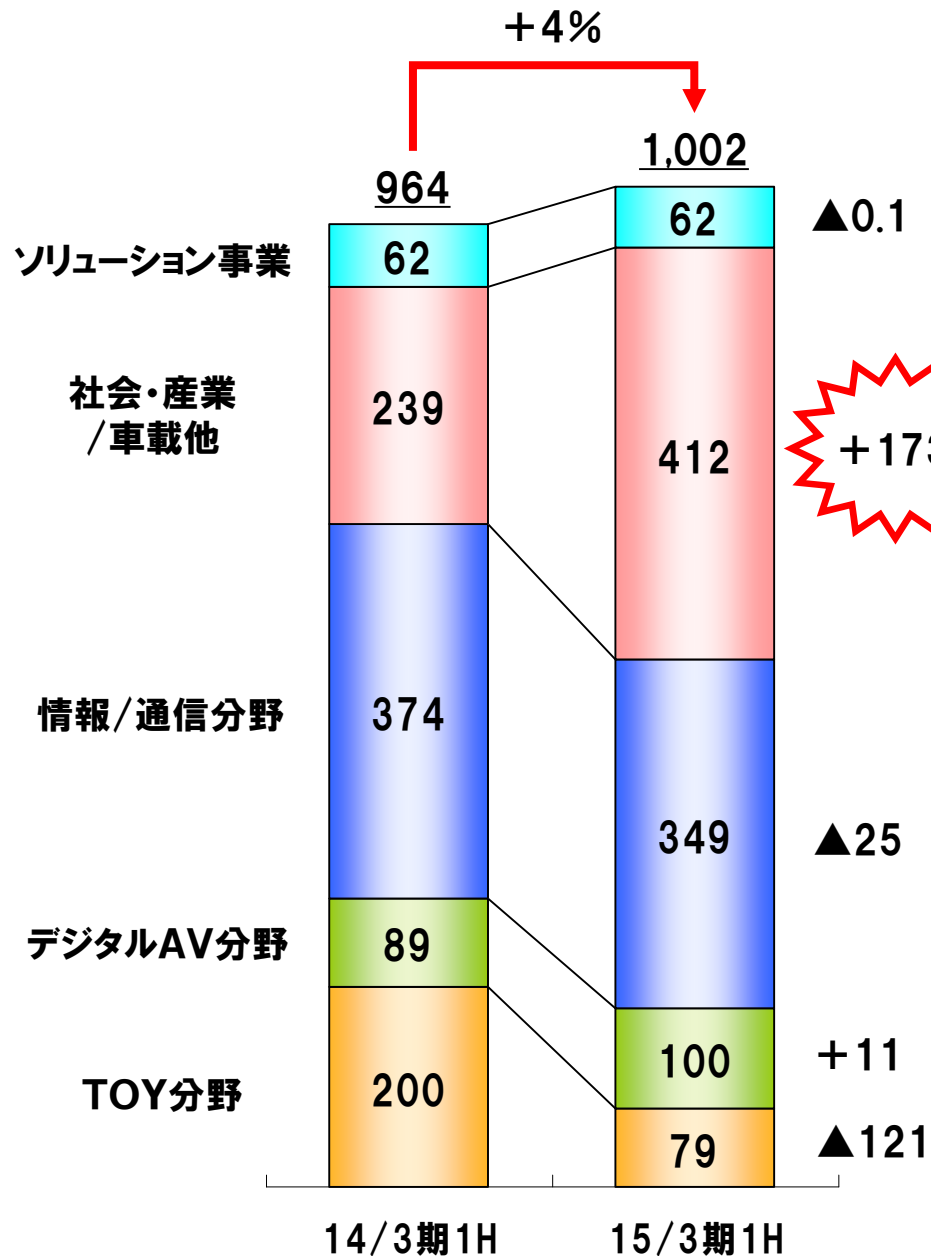
- デバイス事業は売上高前年同期比+4%、セグメント利益は売上高増加により前年同期比+7%
- ソリューション事業は売上高前年同期比▲0.1%、セグメント利益は人員増強で前年同期比▲8%

		14/3期 第2四半期 累計実績	15/3期 第2四半期 累計実績	前期比	※ 当初予想	達成率
デバイス 事業	売上高	902.2	940.9	104%	851.0	111%
	セグメント利益	0.8% 7.2	0.8% 7.7	107%	0.5% 4.0	192%
ソリューション 事業	売上高	61.5	61.5	100%	59.0	104%
	セグメント利益	8.2% 5.0	7.6% 4.7	92%	6.8% 4.0	116%
換算レート (1米ドル)		¥98.85	¥103.04	増減 + ¥4.19	¥100.00	増減 + ¥3.04

※①セグメント利益は、管理部門に関わる費用などを14年3月期より全額各事業に配賦しております

※②第2四半期累計:4月1日~9月30日

※③当初予想は2014年5月14日(2014年3月期決算短信)に発表した予想数値



● 社会・産業/車載他分野が拡大

■ ソリューション事業

● 公共向け以外は総じて低迷

■ 社会・産業/車載他

○ 社会インフラ/車載向け等総じて増加

■ 情報/通信分野

● モバイル向けは伸び悩み

■ デジタルAV分野

○ OBD/オーディオ関連向けが回復

■ TOY分野

● 家庭用ゲーム機向けが大幅減少

Ⅱ. 2015年3月期

通期業績予想

- 売上高は前期比+1% (TOY/デジタルAV分野▲14%、その他分野+7%)
- 営業利益は微増も、ソリューション事業の業績の影響で経常利益/当期純利益は減益見込み

	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 実績	15/3期 予想	前期比	※ 当初予想	達成率
売上高	1,441.6	1,479.6	1,922.4	1,950.0	101%	1,950.0	100%
売上総利益	7.2% 104.4	7.5% 110.6	6.4% 123.9	6.6% 128.6	104%	6.6% 129.7	99%
販管費	6.5% 94.3	6.1% 90.3	5.1% 98.7	5.3% 103.1	104%	5.3% 104.2	99%
営業利益	0.7% 10.1	1.4% 20.3	1.3% 25.2	1.3% 25.5	101%	1.3% 25.5	100%
経常利益	0.6% 8.0	1.1% 16.3	1.4% 26.6	1.3% 24.5	92%	1.3% 24.5	100%
当期純利益	0.4% 5.2	0.8% 11.3	0.9% 18.1	0.8% 16.5	91%	0.8% 16.5	100%
連結ROE	0.9%	1.9%	3.0%	2.6%	増減 ▲0.7P	2.6%	増減 ±0P
換算レート (1米ドル)	¥79.07	¥83.11	¥100.23	¥101.52	増減 +¥1.29	¥100.00	増減 ±¥1.52

※①1H:4月1日～9月30日、2H:10月1日～3月31日

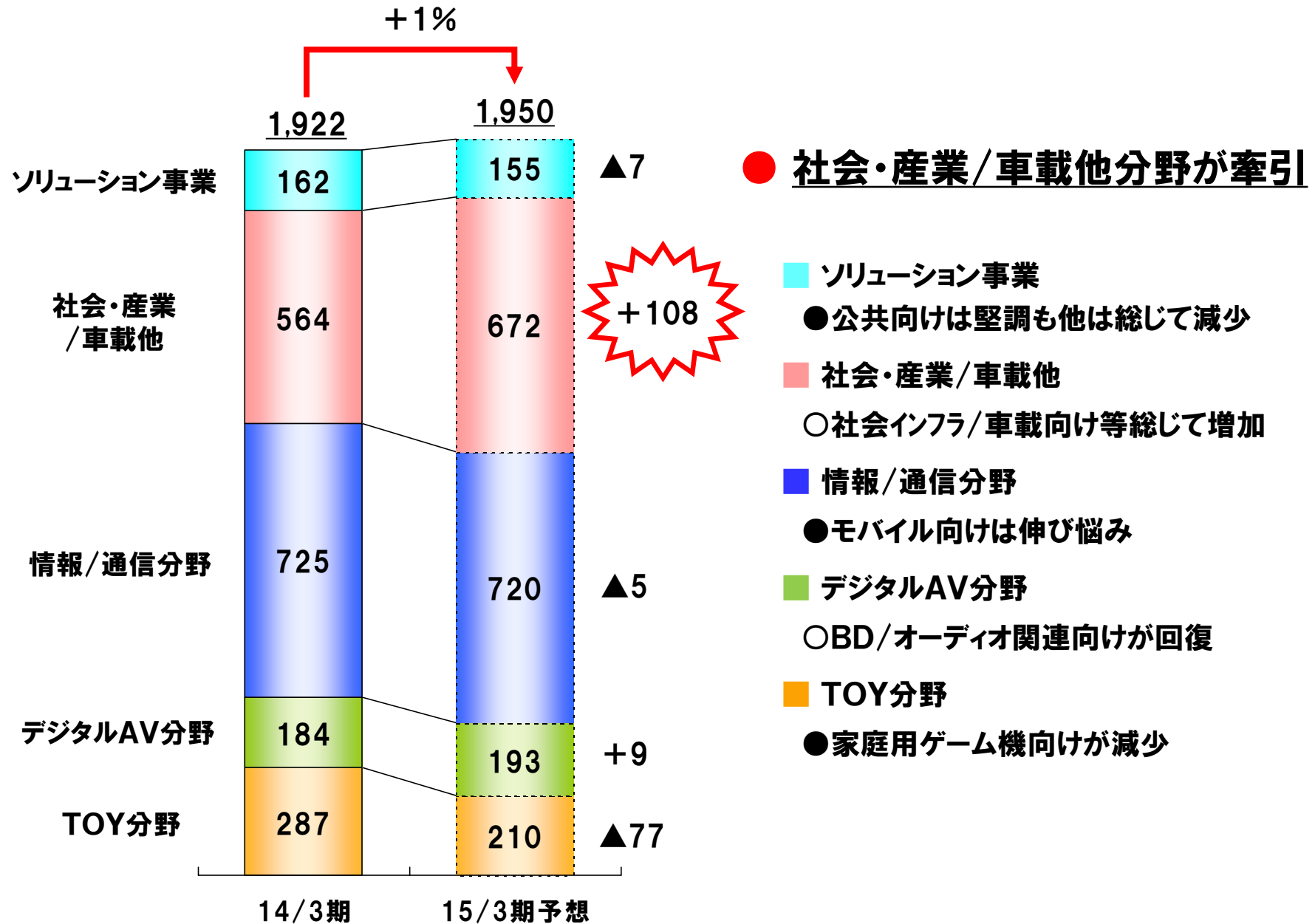
※②下期想定為替レート:1US\$ = 100円

※③当初予想は2014年5月14日(2014年3月期決算短信)に発表した予想数値

- デバイス事業は下期の当初予想を下回るも、通期では当初予想通り増収増益の見通し
- ソリューション事業は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で減収減益の見通し

		12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 実績	15/3期 予想	前期比	※ 当初予想	達成率
デバイス 事業	売上高	1,331.3	1,351.1	1,760.5	1,795.0	102%	1,795.0	100%
	セグメント利益	-0.1% -0.7	0.3% 4.7	0.6% 10.8	0.6% 11.5	107%	0.6% 11.5	100%
ソリューション 事業	売上高	110.3	128.5	161.9	155.0	96%	155.0	100%
	セグメント利益	7.9% 8.7	9.0% 11.6	9.8% 15.8	8.4% 13.0	82%	8.4% 13.0	100%
換算レート (1米ドル)		¥79.07	¥83.11	¥100.23	¥101.52	増減 + ¥1.29	¥100.00	増減 + ¥1.52

- ※①セグメント利益は、管理部門に関わる費用などを14年3月期より全額各事業に配賦しており、12年3月期～13年3月期実績も同一の配賦基準に変更し記載しております
- ※②1H:4月1日～9月30日、2H:10月1日～3月31日
- ※③下期想定為替レート:1US\$ = 100円
- ※④当初予想は2014年5月14日(2014年3月期決算短信)に発表した予想数値



Ⅲ. 經營方針 / 重点課題

リスクを吸収し常に成長を続ける強い事業基盤を確立する

当社グループの状況

<セグメント利益>

- ソリューション事業がデバイス事業を上回る
- デバイス事業は特定分野減少による収益低迷
- ソリューション事業は着実に収益構造を改善

デバイス
40%

ソリューション
60%

<14/3期実績>

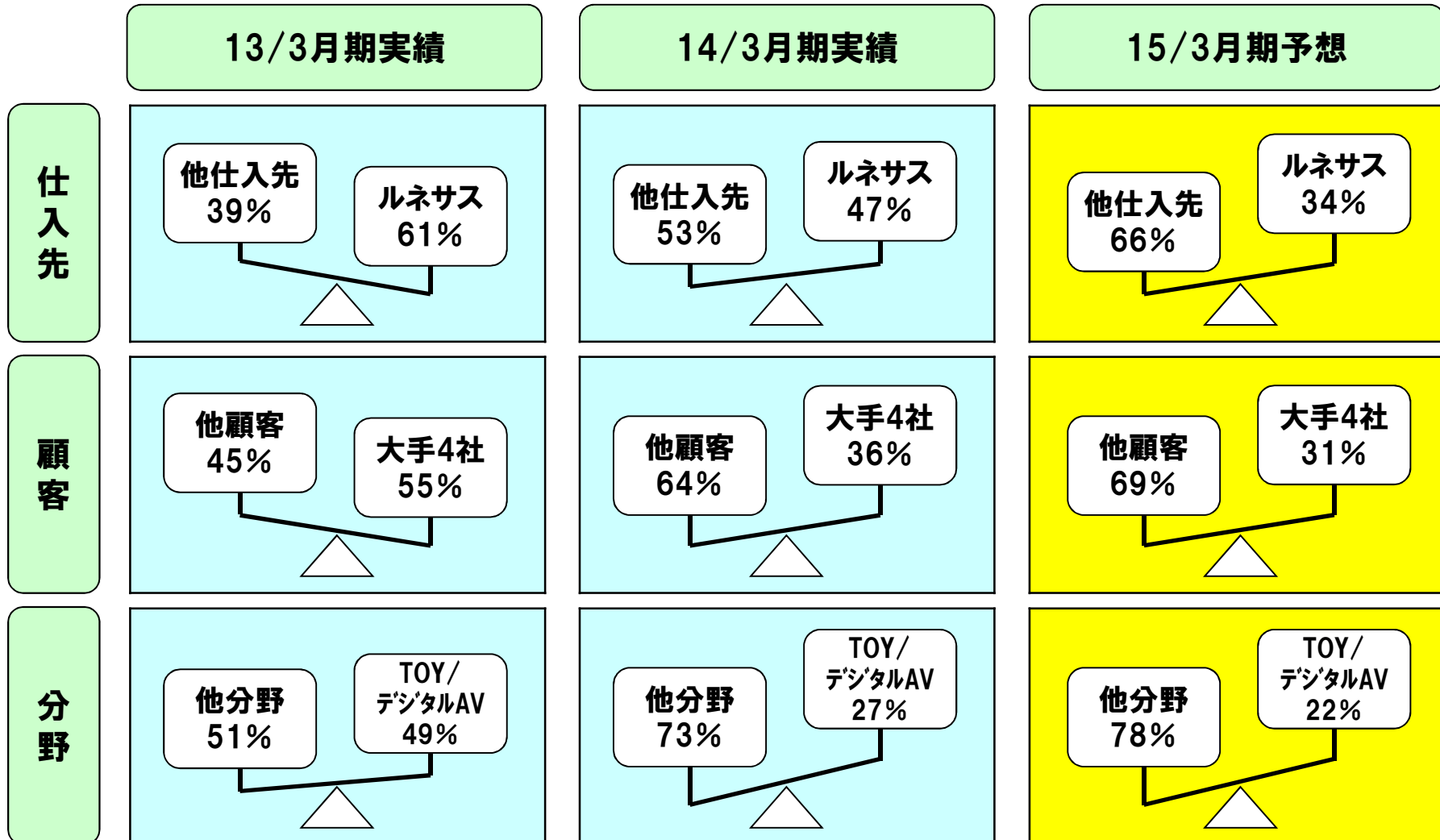
今後の経営方針

デバイス事業の
本格的な業績回復

利益構成目標
(デ事業)2:1(ソ事業)

ソリューション事業の
安定的な収益基盤の構築

● バランスの取れた強い収益構造の構築
→ 拡販領域の拡大と顧客の深耕によるビジネス機会の創出

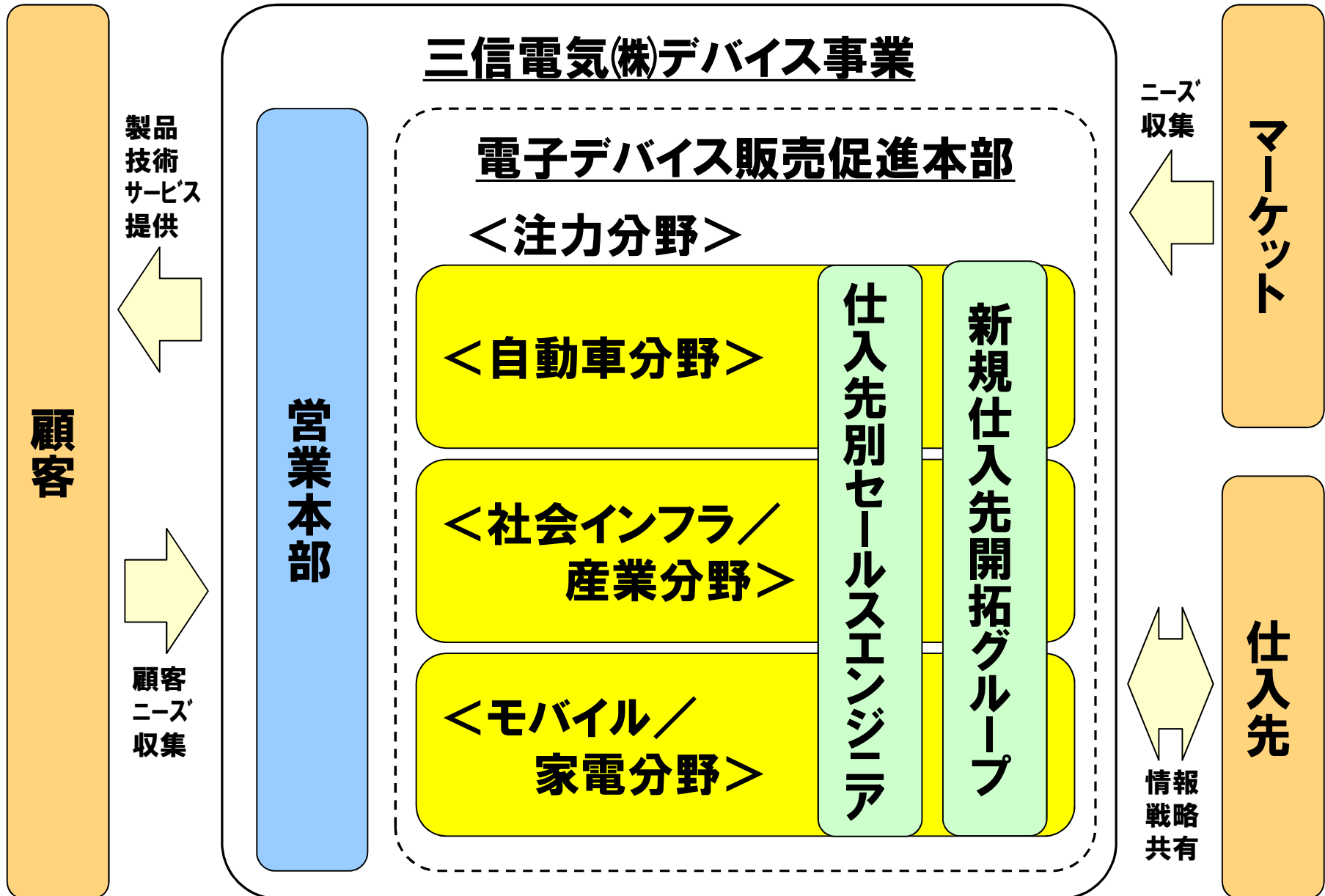


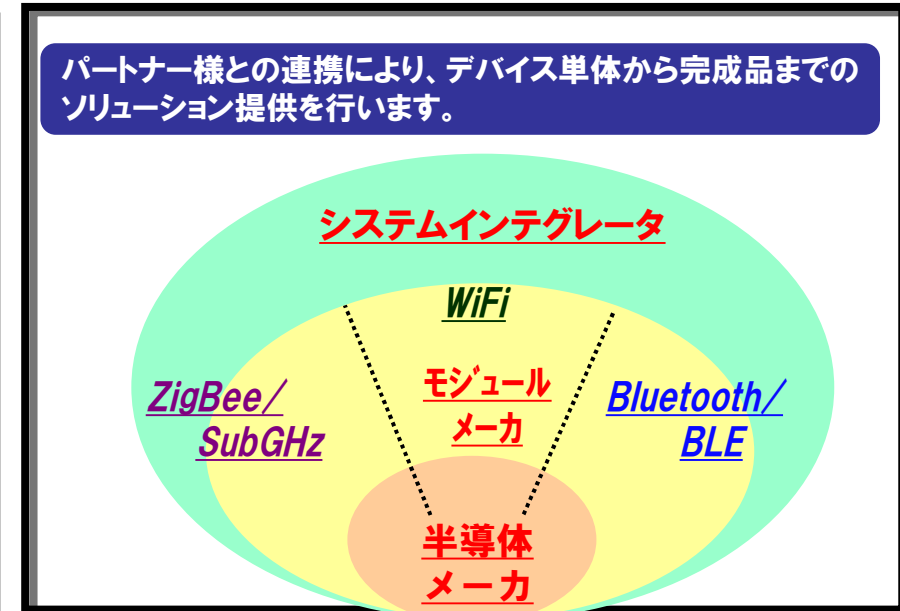
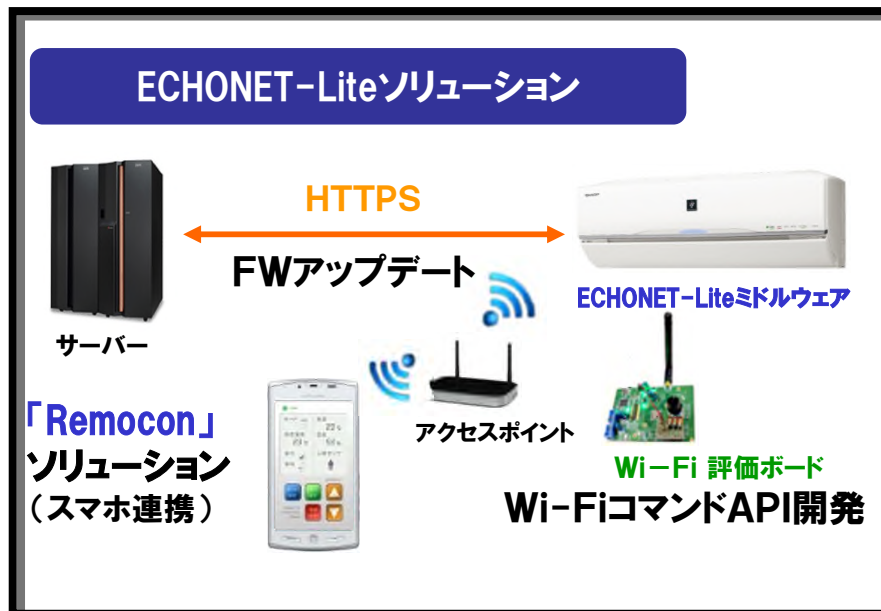
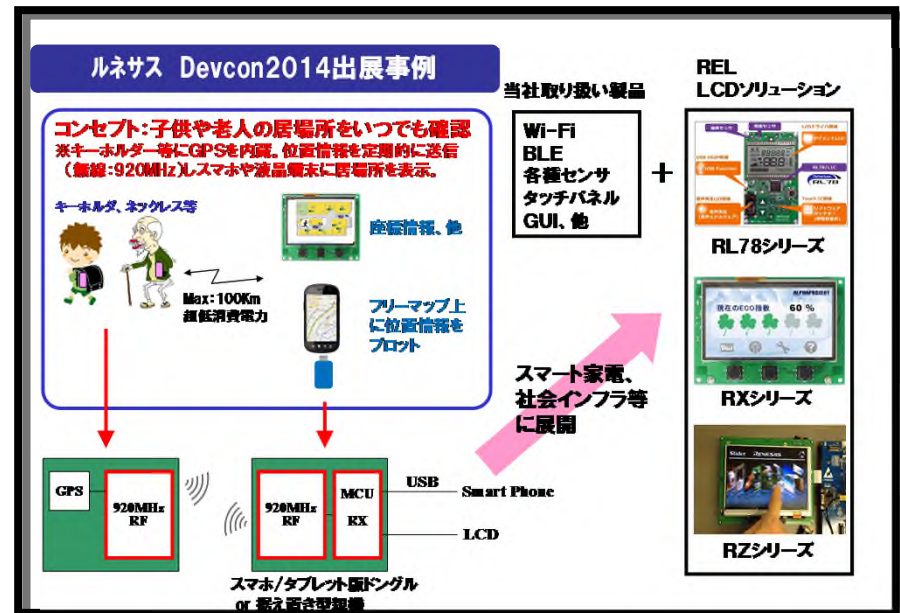
1. 既存仕入先製品と新規仕入先製品の拡販強化

- ①仕入先と販売戦略の整合を図りながら成長分野へ拡販強化
 - ・社会・産業/車載分野へ注力
- ②海外メーカーを中心とした新規仕入先製品の拡充
 - ・顧客ニーズに応じた製品ラインアップの強化
 - ・新規仕入先製品を切り口とした新規顧客の開拓

2. トータルソリューションによる顧客の深耕

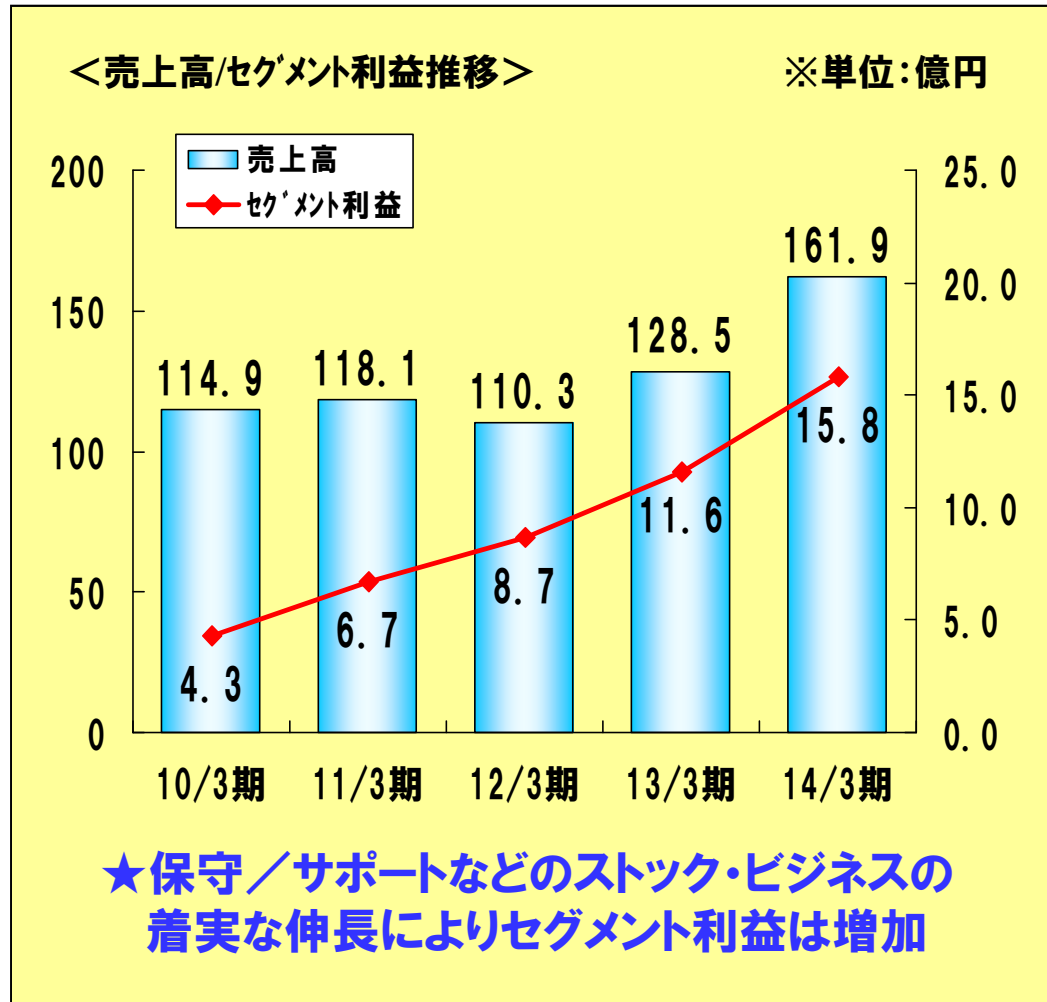
- ①販売促進本部を統合、マーケット分野毎の販売体制に編成替え
 - ・各仕入先の強みを最適に組み合わせたトータルソリューションを提供
 - ・マスマーケットにおける中堅顧客の掘り起こし、新規顧客の開拓
- ②海外移管ビジネスにおける現地子会社と国内営業部の連携強化
- ③増加している海外でのデザインインのニーズへの対応強化
- ④素材加工ビジネス/EMSなど新たなビジネスモデルの展開





ソリューション事業の状況

15/3期予想



売上高:
155億円(前期比:96%)

セグメント利益:
13億円(前期比:82%)

環境変化に左右されない
安定的な収益基盤の構築
に向けた取り組みを加速

※セグメント利益は、管理部門に関わる費用などを14年3月期より全額各事業に配賦しており、10年3月期～13年3月期実績も同一の配賦基準に変更し記載しております

1. バランスの取れた収益構成の構築

①各ビジネスユニット間で顧客共有し、連携を通じてシナジー効果を発揮

NW	キーアカウントの深耕、ニーズを見極めたクラウド対応
公共	官公庁向けの深耕、消防防災の需要取り込み
組み込みシステム	顧客深耕による需要の掘り起こし
APソフト	クラウドの実績作り、CTIビジネスの強化
映像	新規IPTV市場の開拓

※APソフト:アプリケーションソフト

②仕入先/協業パートナーとの連携による拡販強化

2. ストックビジネスの拡大

- ①クラウド化を視野に入れた三信オリジナルメニューの拡充
- ②工事の一元管理、コールセンターの統合など保守体制の見直し
- ③協業パートナーとの連携強化、技術資格の取得推進による技術力UP

平成27年1月開設予定

1. 堅牢なデータセンターを低価格で提供

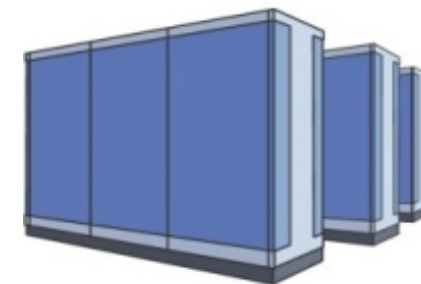
- ①ハザードマップの被害想定区域外の立地
- ②FISC安全対策基準に準拠、且つ最高基準であるTier-4レベルのファシリティ
- ③首都圏最高水準のコストパフォーマンス
- ④電源冗長化を標準とした8kVAの大容量電力の供給を実現

2. 導入から運用迄のフルマネジメントサービスを提供

- ①高品質ファシリティに広域帯回線サービスまで含め、ITインフラをトータルでサポート
- ②豊富なノウハウと支援体制で、コアビジネスへの注力を強力にサポート
- ③運用実績に応じたビジネス課題を洗い出し、見直しや改善提案を実施

3. ハイブリット環境を柔軟且つ最適なコストで提供

- ①オンプレミス型とクラウド型の一体運用が可能
- ②NEC Cloud IaaSとのハイブリット環境構築が容易
- ③AWS、Azureなどの他クラウド事業者サービスが可能



IV. 財務状況

	14年3月末 実績 A	14年9月末 実績 B	B - A 増減 (14/3対比)	15年3月末 予想 C	C - A 増減 (14/3対比)
現預金	217.6	132.0	△ 85.6	155.0	△ 62.6
売掛債権	487.2	582.7	95.5	568.0	80.8
棚卸資産	134.6	181.4	46.9	155.0	20.4
その他資産	95.8	95.0	△ 0.9	95.0	△ 0.8
資産合計	935.2	991.2	55.9	973.0	37.8
買掛債務	240.0	284.2	44.2	260.0	20.0
有利子負債	45.2	46.1	0.8	46.1	0.8
その他負債	27.4	27.1	△ 0.4	27.4	△ 0.1
純資産合計	622.6	633.8	11.2	639.5	17.0
負債・純資産合計	935.2	991.2	55.9	973.0	37.8
自己資本比率	66.6%	63.9%	△2.7P	65.7%	△0.9P

	14年3月期 実績	15年3月期予想		
		1H実績	2H予想	通期予想
売上債権の減少(△は増加)	△ 83.7	△ 82.8	2.0	△ 80.8
棚卸資産の減少(△は増加)	100.9	△ 43.4	22.9	△ 20.4
仕入債務の増加(△は減少)	62.9	35.9	△ 15.9	20.0
その他	17.7	8.7	18.4	27.1
営業C/F	97.9	△ 81.6	27.5	△ 54.1
投資C/F	2.6	△ 1.3	△ 1.2	△ 2.5
財務C/F	△ 3.2	△ 3.9	△ 2.1	△ 6.0
換算差額	2.2	1.2	△ 1.2	
現預金の増減額	99.4	△ 85.6	23.0	△ 62.6
新規連結に伴う現預金の増加	6.6			
現預金の期末残高	217.6	132.0	155.0	155.0

※1H:4月1日～9月30日、2H:10月1日～3月31日

	11/3期 実績	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 実績	15/3期 予想
①連結当期純利益	1,448百万円	516百万円	1,131百万円	1,806百万円	1,650百万円
②包括利益	637百万円	492百万円	2,035百万円	3,385百万円	—
③連結自己資本比率	64.5%	73.5%	72.3%	66.6%	65.7%
④配当総額 (1株当り配当)	605百万円 (20円)	595百万円 (20円)	580百万円 (20円)	563百万円 (20円)	563百万円 (20円)
⑤連結配当性向	41.8%	117.0%	51.7%	31.4%	34.2%
⑥自己株式取得総額 (取得株式数)	—	766百万円 (1,000千株)	321百万円 (500千株)	366百万円 (600千株)	未定
⑦総還元性向(④+⑥)÷①	41.8%	263.9%	79.7%	51.4%	未定
⑧自己株式消却	—	—	—	1,000千株	未定
⑨期末発行済株式総数 (自己株式除く)	30,281千株 (30,280千株)	30,281千株 (29,280千株)	30,281千株 (28,779千株)	29,281千株 (28,179千株)	未定
⑩1株当たり当期純利益	47.81円	17.10円	38.67円	63.78円	58.55円
⑪1株当たり純資産	1,968.14円	2,005.34円	2,081.88円	2,209.24円	2,269.40円

- ※1. 自己株式取得株式数には単元未満株式の買取請求に伴う取得分は含まれておりません
 2. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数(自己株式除く)で算出しております
 3. 1株当たり純資産は期末発行済株式総数(自己株式除く)で算出しております
 4. 15/3期予想における1株当たり当期純利益および1株当たり純資産は14年9月末発行済み株式総数(自己株式除く)で算出しております

●基本方針

- ・利益還元の拡大と内部留保の充実

●15年3月期 配当予想

- ・安定配当を継続、前期と同額の1株当たり20円
→中間、期末各10円 ※中間配当は11月20日取締役会で決議予定
- ・連結配当性向 34.2%
- ・11年3月期～15年3月期平均連結配当性向 44.4%
- ・11年3月期～15年3月期平均総還元性向 66.5%

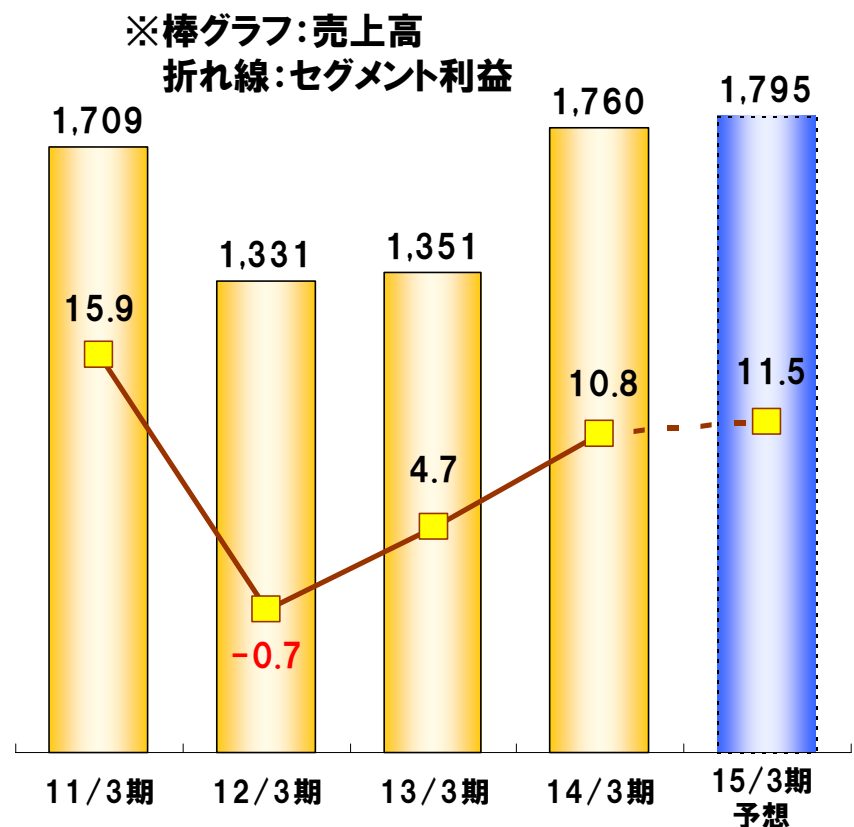
補足資料①

2015年3月期

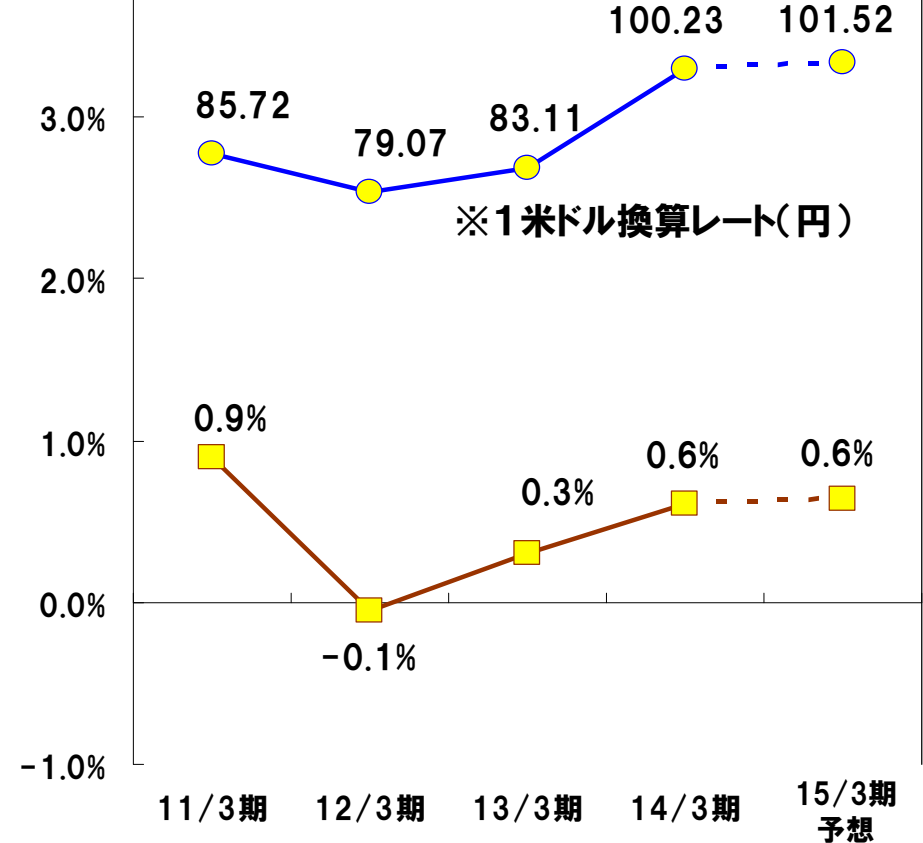
デバイス事業業績予想

■ 15年3月期予想は、売上高前期比2%増、セグメント利益前期比7%増
 →11年3月期の業績には届かず、早期業績回復に向けて更なる収益改善に努める

売上高・セグメント利益

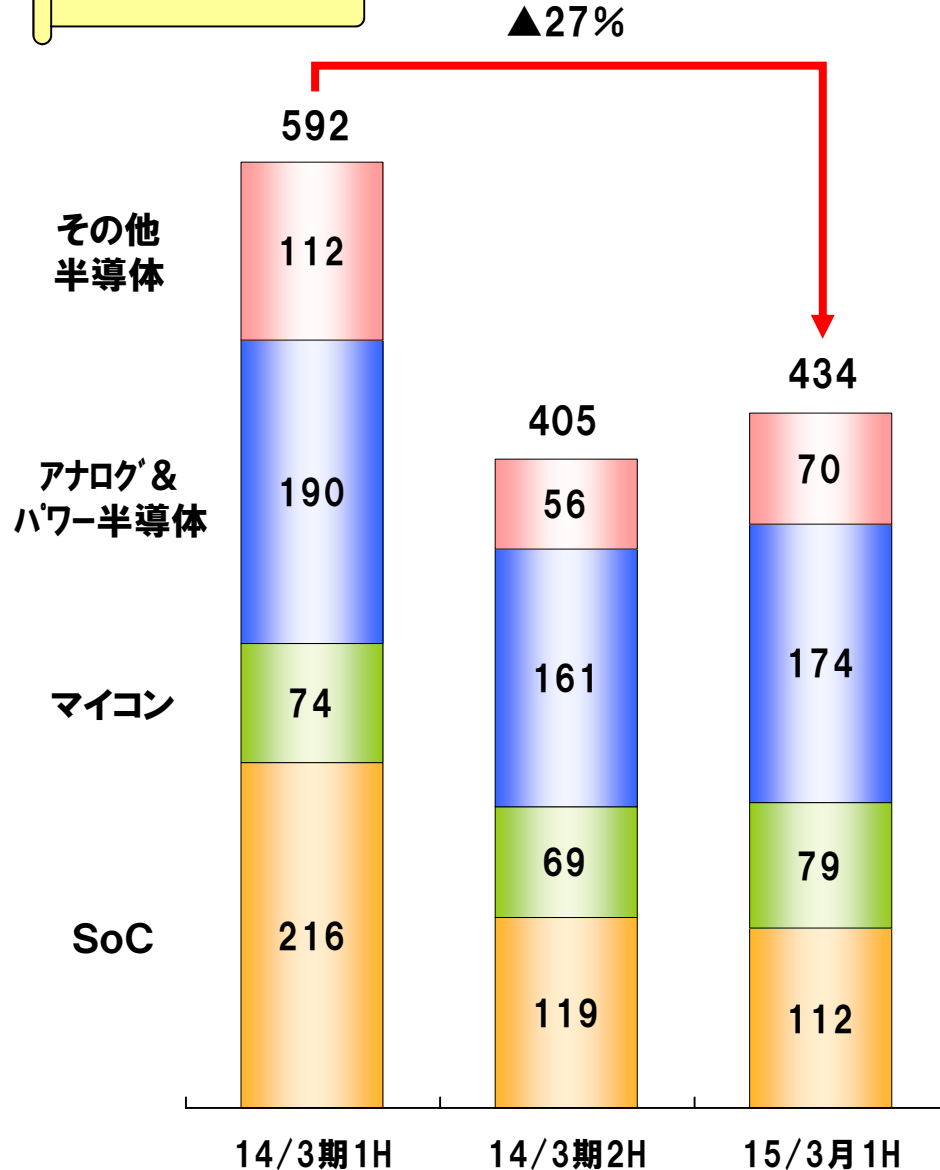


セグメント利益率



※セグメント利益は、管理部門に関わる費用などを14年3月期より全額各事業に配賦しており、11年3月期～13年3月期実績も同一の配賦基準に変更し記載しております

半期売上高



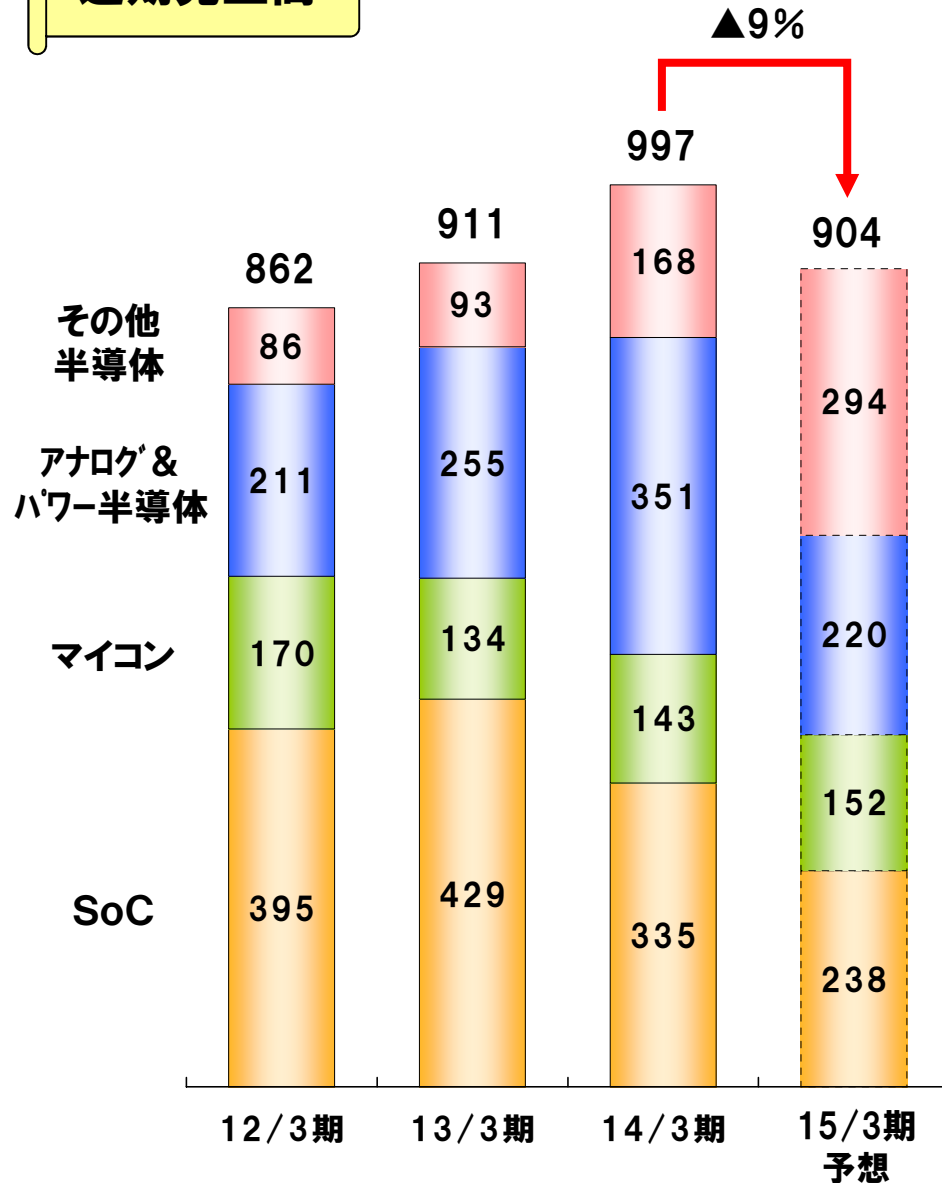
【前年同期比増減内容】

- SoC(システムLSI)
 - BD/DSC向け等は回復
 - 家庭用ゲーム機向けが減少
- マイコン
 - 車載/オーディオ/白物家電向けは増加
 - 家庭用ゲーム機向けが減少
- アナログ&パワー半導体
 - モバイル向けが減少
 - 仕入先製品の生産終了により減少
- その他半導体
 - モバイル/HDD向けが減少

	15年3月期1H予想	
	14/3期1H比	14/3期2H比
SoC	▲48%	▲7%
マイコン	+6%	+14%
アナログ&P半	▲8%	+8%
その他半導体	▲38%	+26%

※SoC、マイコン、アナログ&パワーは全てルネサスEL製品であり、
同社以外の半導体製品は「その他半導体」に含まれております。

通期売上高

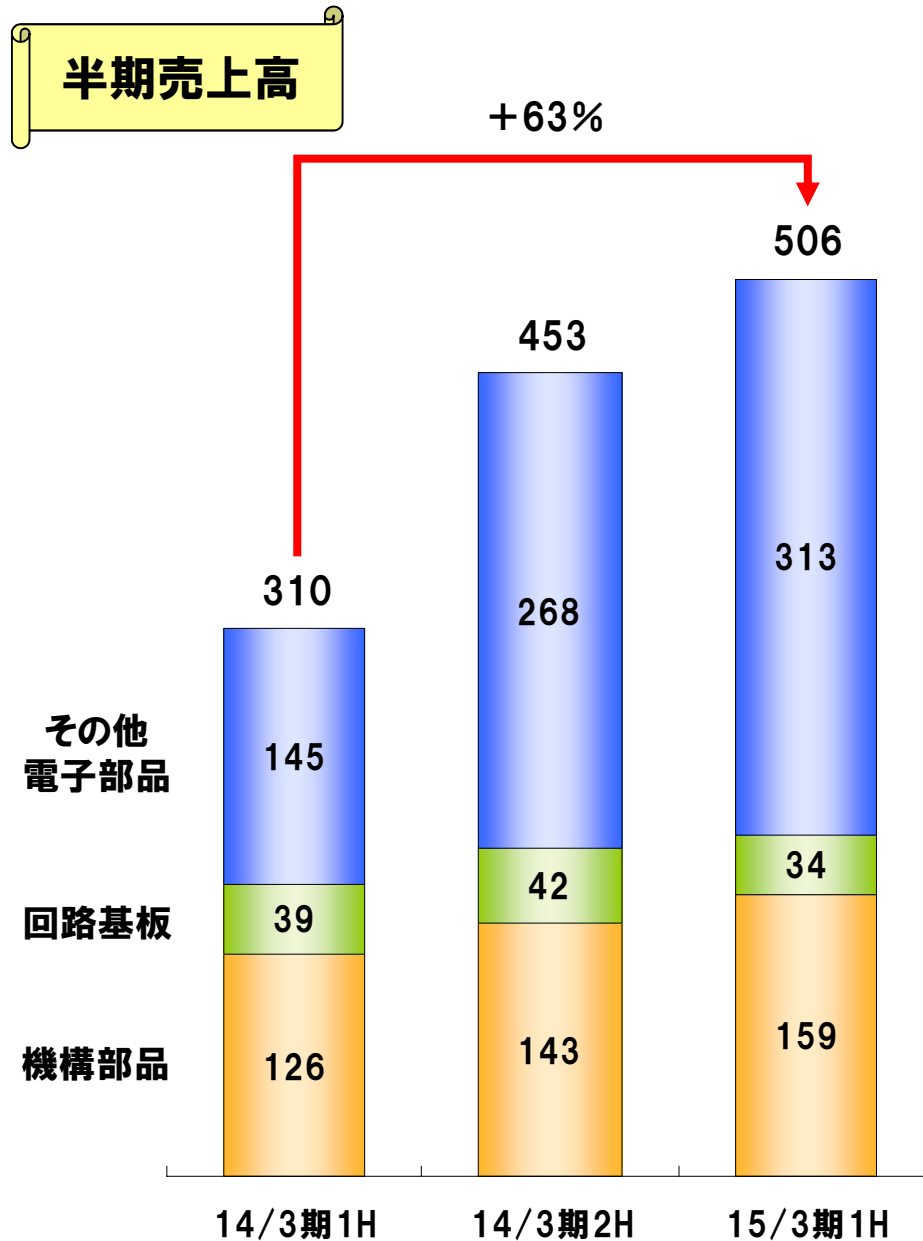


【前期比増減内容】

- SoC(システムLSI)
 - BD/DSC向け等は回復
 - 家庭用ゲーム機向けが減少
- マイコン
 - 車載/オーディオ/白物家電向けは増加
 - 家庭用ゲーム機向けが減少
- アナログ&パワー半導体
 - 下期から旧RSP製品をその他半導体へ移管
 - 仕入先製品の生産終了により減少
- その他半導体
 - 下期から旧RSP製品が移管
 - 上記移管分を除けばモバイル/HDD向けが減少

	前期比
SoC	▲29%
マイコン	+6%
アナログ&P半	▲37%
その他半導体	+75%

※SoC、マイコン、アナログ&パワーは全てルネサスEL製品であり、同社以外の半導体製品は「その他半導体」に含まれております。

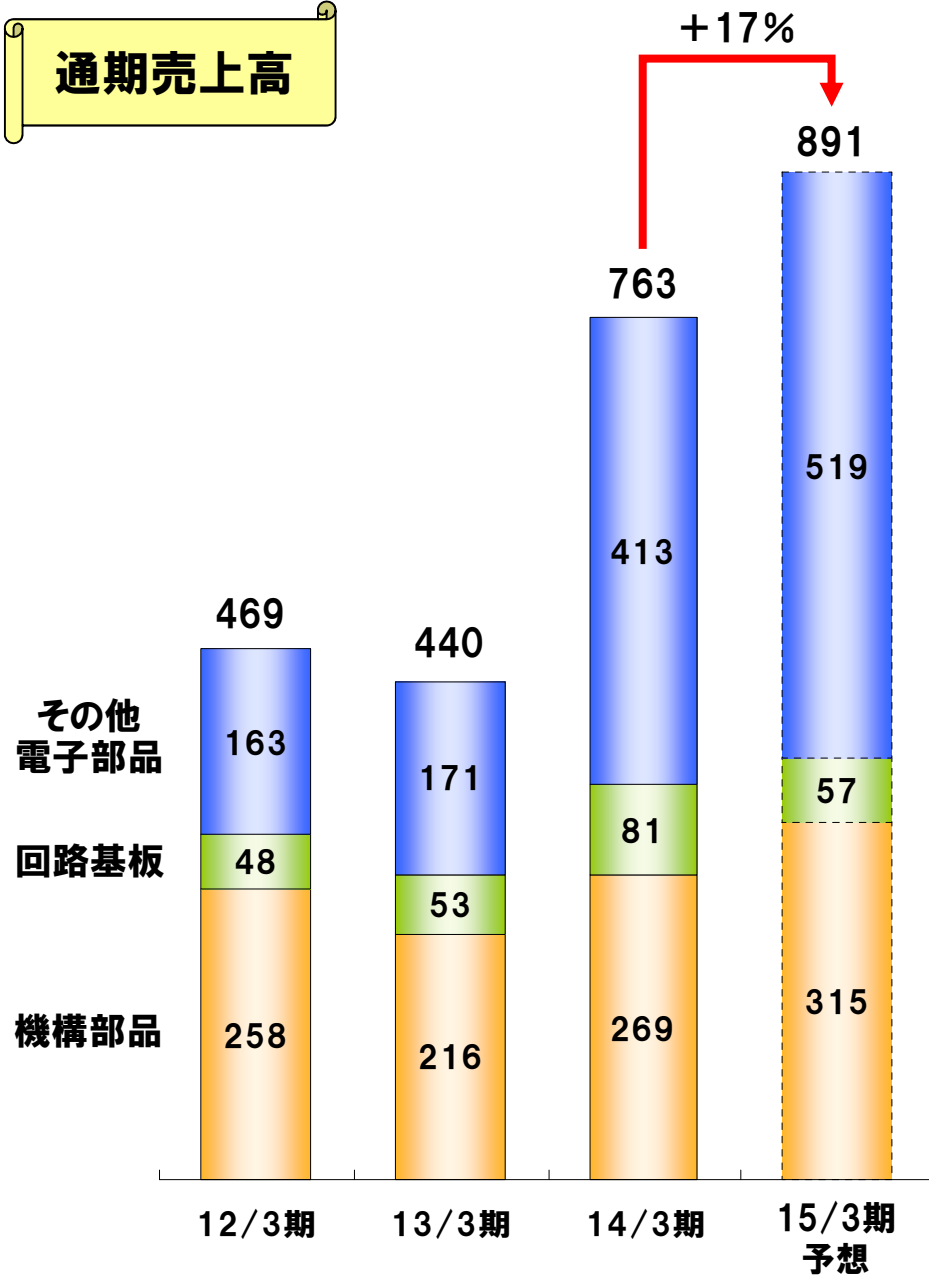


【前年同期比増減内容】

- 機構部品
 - モバイル向けが増加
- 回路基板
 - モバイル向けが減少
- その他電子部品
 - 素材、新規ビジネスが増加

	15年3月期1H予想	
	14/3期1H比	14/3期2H比
機構部品	+26%	+12%
回路基板	▲13%	▲19%
その他	+116%	+17%

通期売上高

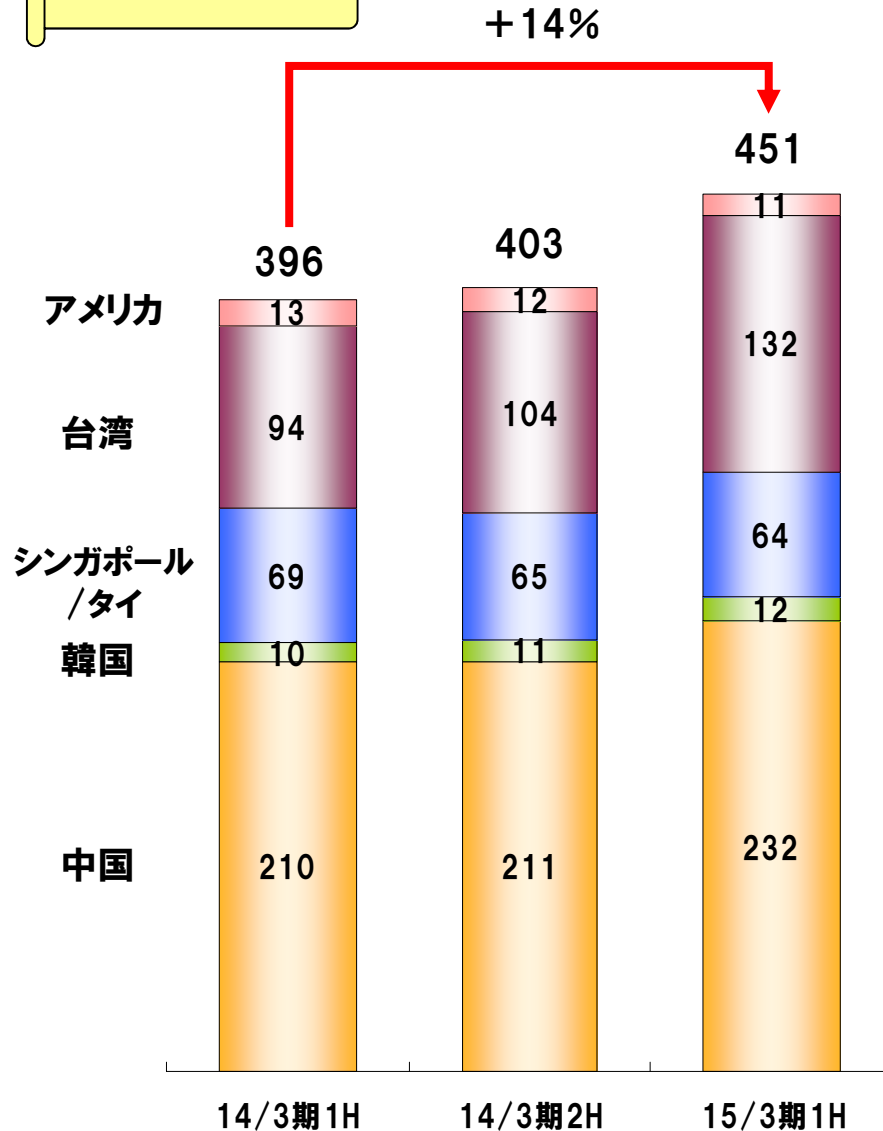


【前期比増減内容】

- 機構部品
 - モバイル/家庭用ゲーム機向けが増加
- 回路基板
 - モバイル向けが減少
- その他電子部品
 - 素材/モバイル/新規ビジネスが増加

	前期比
機構部品	+17%
回路基板	▲30%
その他	+26%

半期売上高

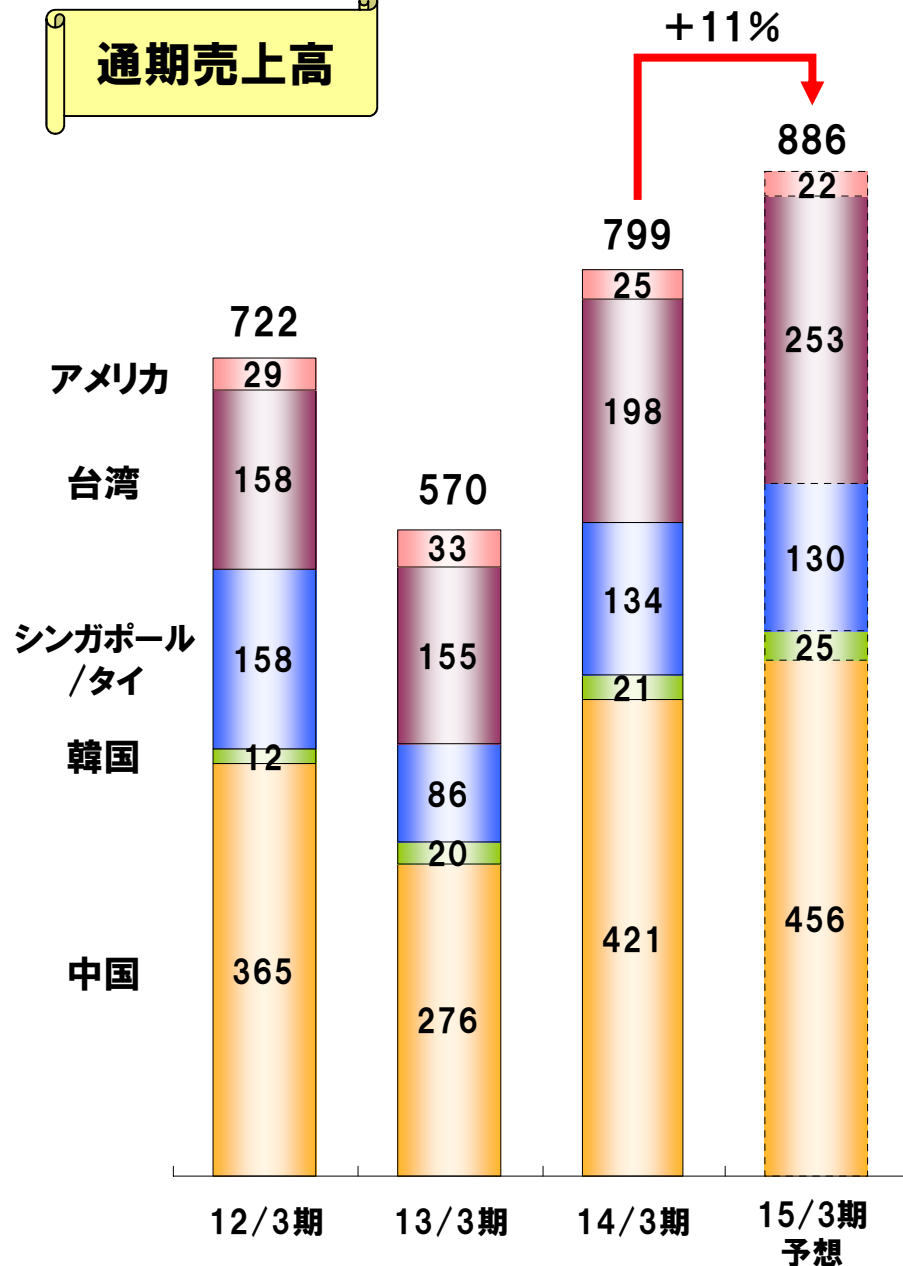


【前年同期比増減内容】

- **中国**
 - 15/3月期より三信国際貿易(上海)を連結化
 - モバイル向けが増加
- **韓国**
 - 車載/PCディスプレイ/白物家電向けが増加
- **シンガポール(含むタイ)**
 - デジタルAV/HDD向けが減少
- **台湾**
 - 家庭用ゲーム機/モバイル向けが増加
- **USA**
 - デジタルAV向けが減少

	15年3月期1H予想	
	14/3期1H比	14/3期2H比
中国	+11%	+10%
韓国	+23%	+10%
シンガポール/タイ	▲8%	▲2%
台湾	+40%	+27%
アメリカ	▲15%	▲9%

通期売上高



【前期比増減内容】

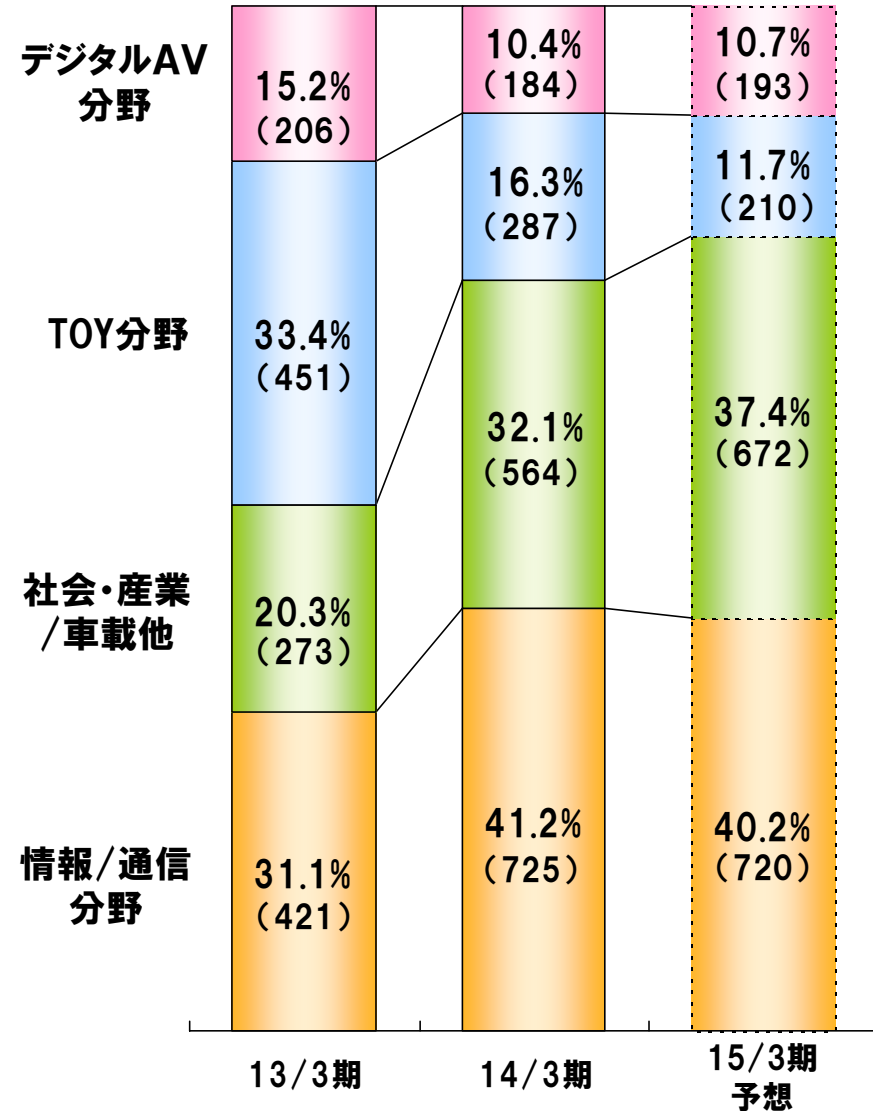
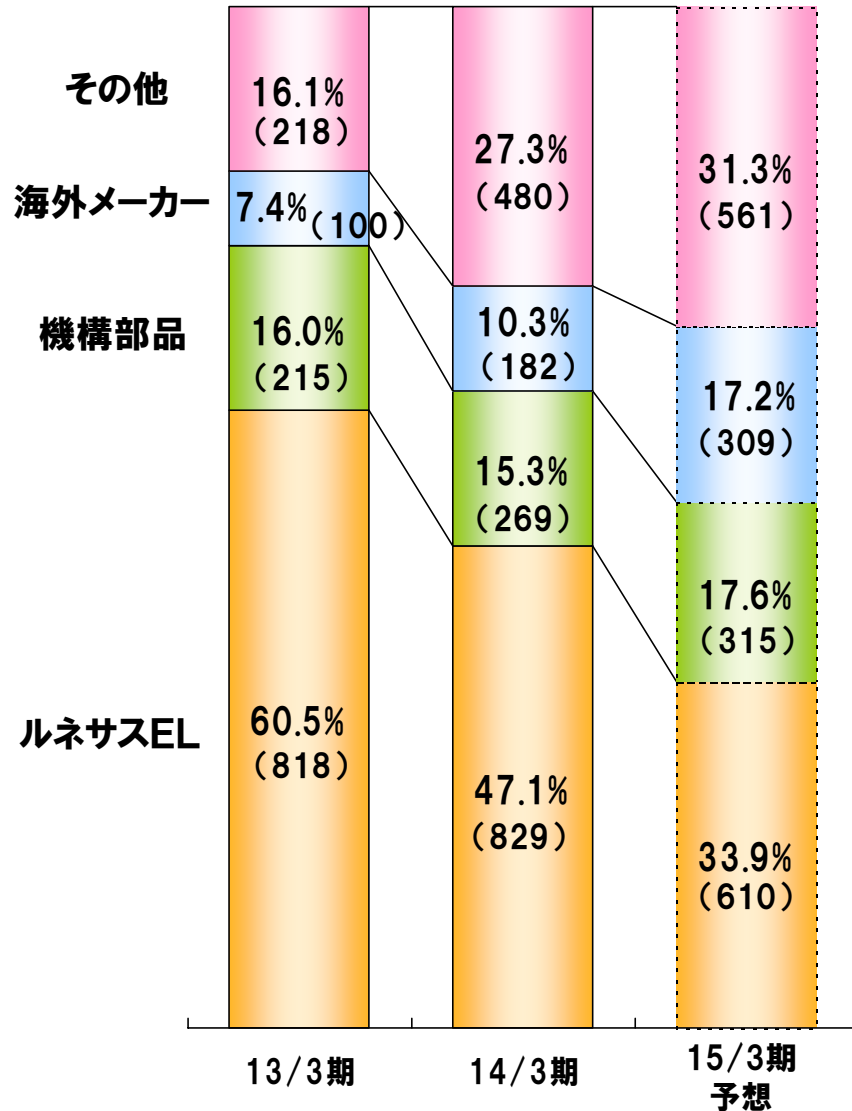
- **中国**
 - 15/3月期より三信国際貿易(上海)を連結化
 - モバイル向けが増加
- **韓国**
 - 車載/PCディスプレイ/白物家電向けが増加
- **シンガポール(含むタイ)**
 - デジタルAV/HDD向けが減少
- **台湾**
 - 家庭用ゲーム機/モバイル向けが増加
- **USA**
 - デジタルAV向けが減少

	前期比
中国	+8%
韓国	+16%
シンガポール/タイ	▲3%
台湾	+28%
アメリカ	▲11%

製品別売上高構成比

※ ()は売上高、億円

分野別売上高構成比



※15/3期予想は下期から旧RSP製品(ルネサスEL)を海外メーカーへ移管

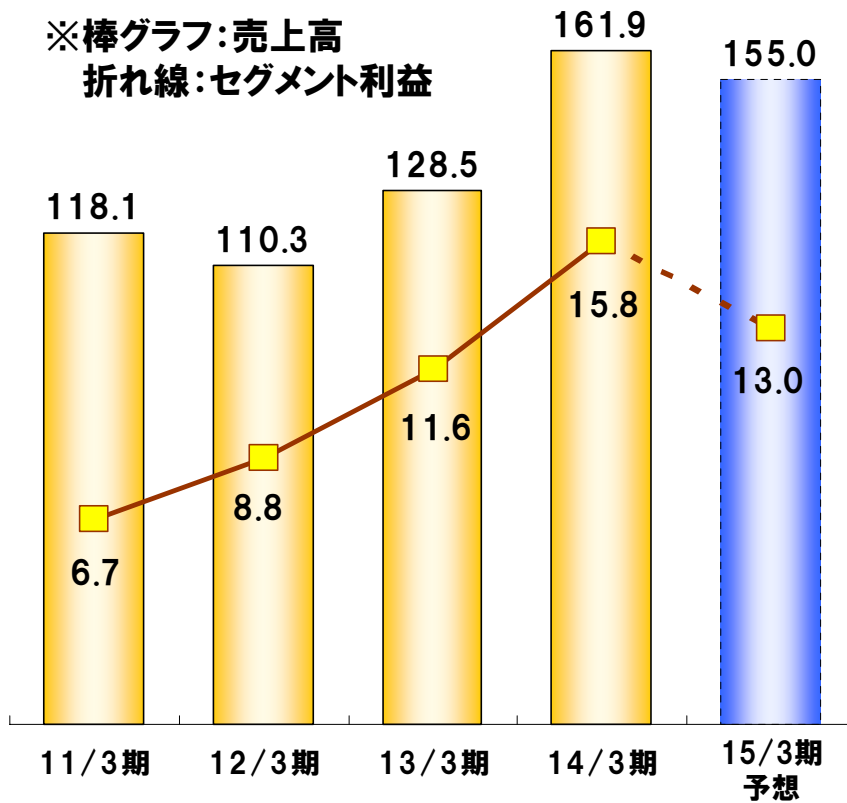
補足資料②

2015年3月期

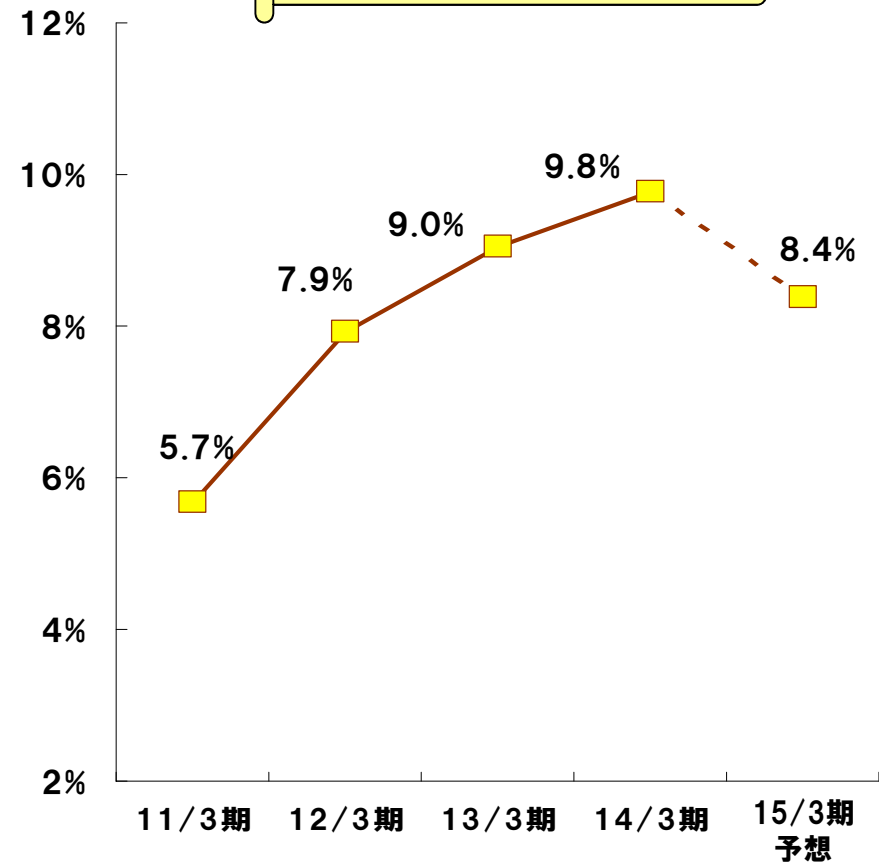
ソリューション事業業績予想

■ 15年3月期予想は、売上高前期比4%減、セグメント利益は前期比18%減
 →駆け込み需要の反動や人員増強により減益、安定成長に向けての体制固め

売上高・セグメント利益



セグメント利益率

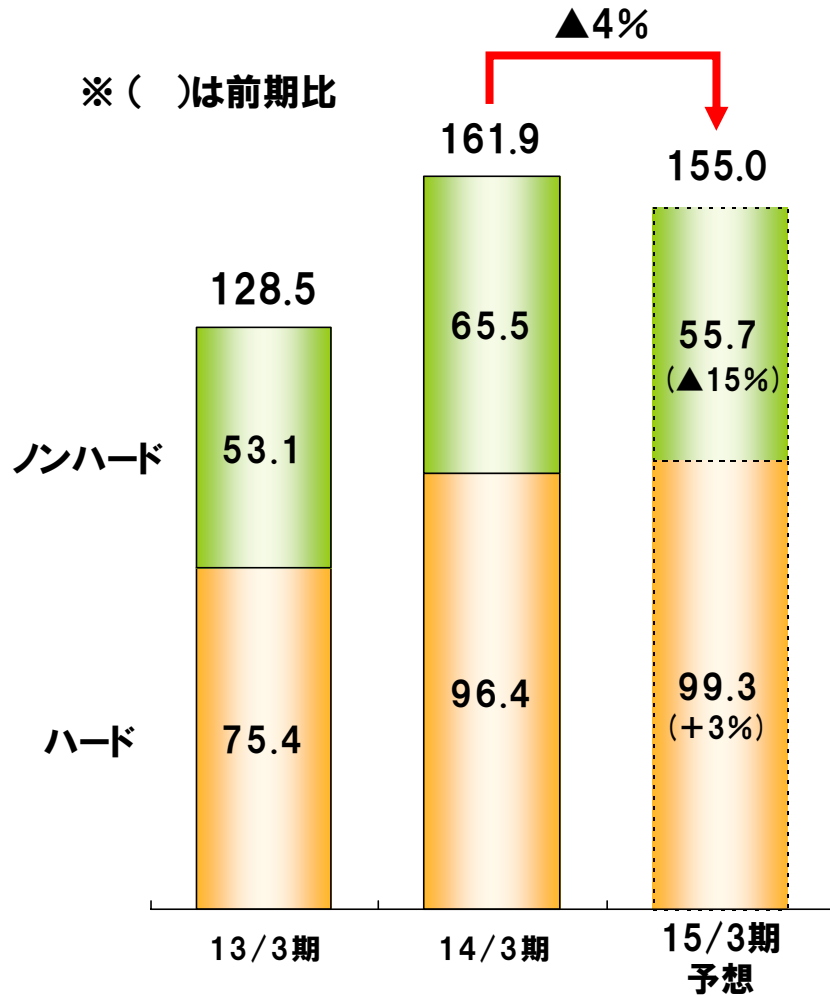


※セグメント利益は、管理部門に関わる費用などを14年3月期より全額各事業に配賦しており、11年3月期～13年3月期実績も同一の配賦基準に変更し記載しております

品目別売上高推移

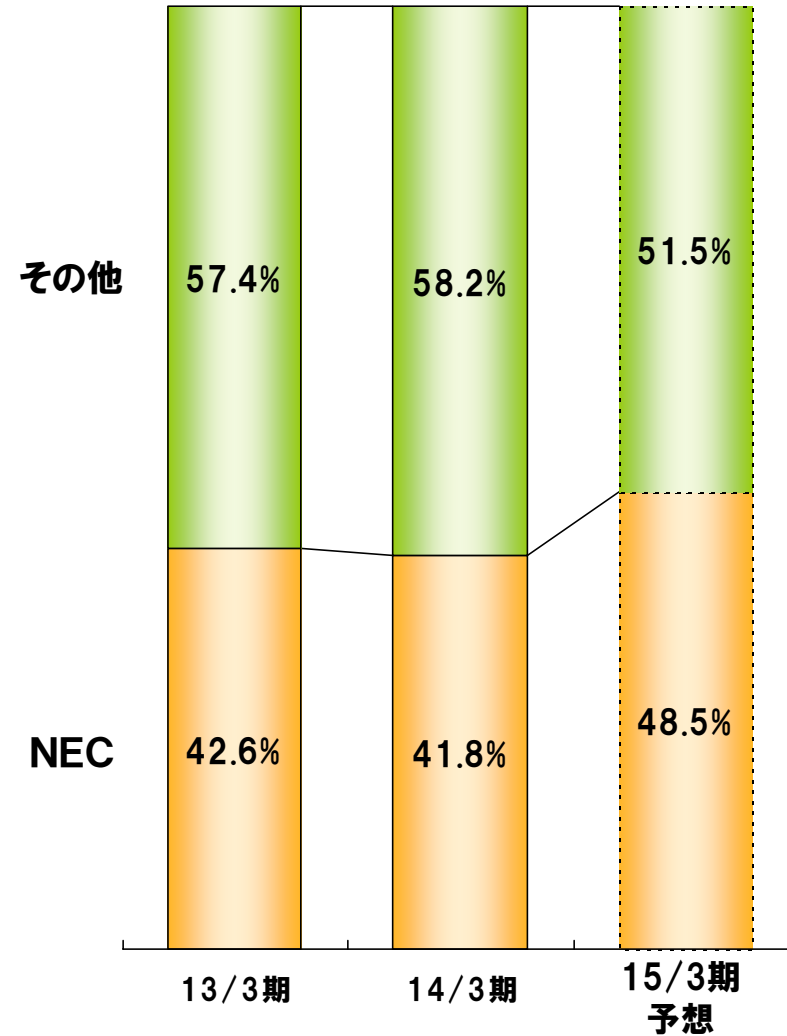
- ハード:公共向けが増加
- ノンハード:大型案件が減少

※ ()は前期比

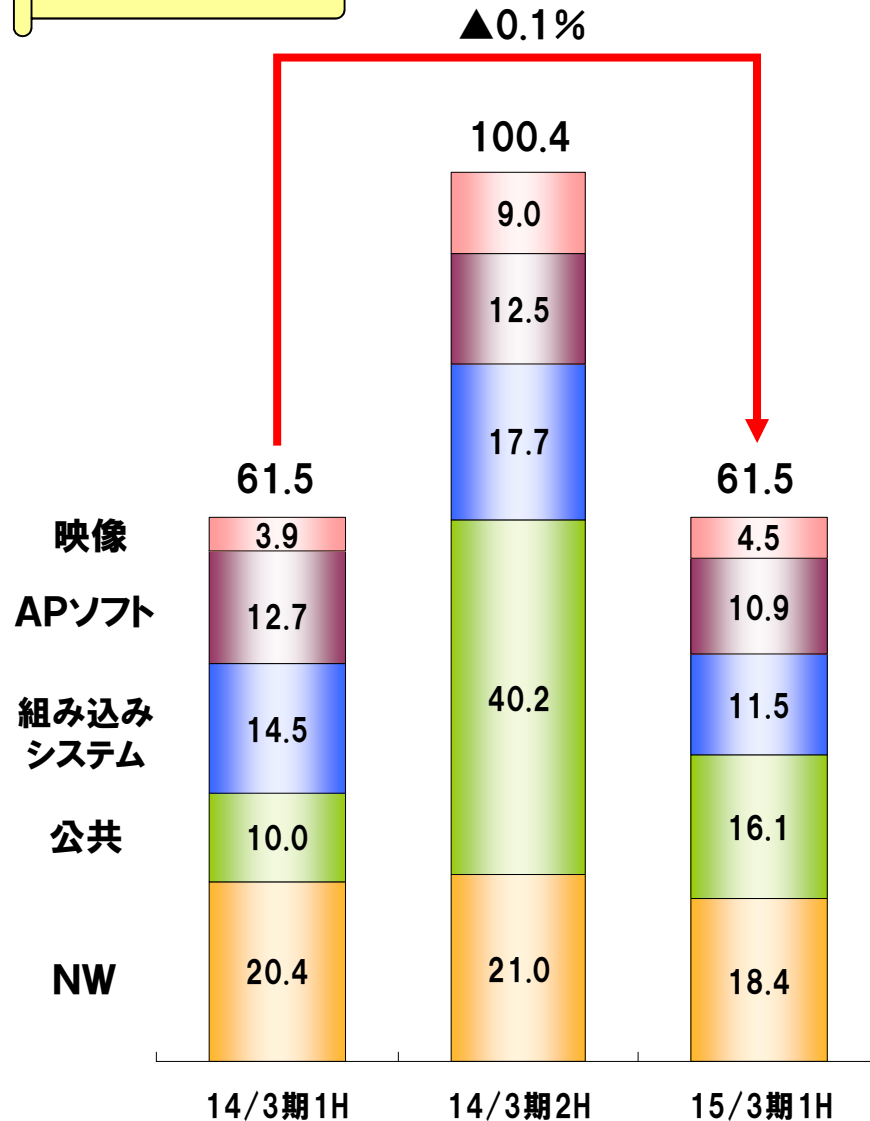


仕入先別売上高構成比

15/3月期予想はNEC比率が上昇



半期売上高

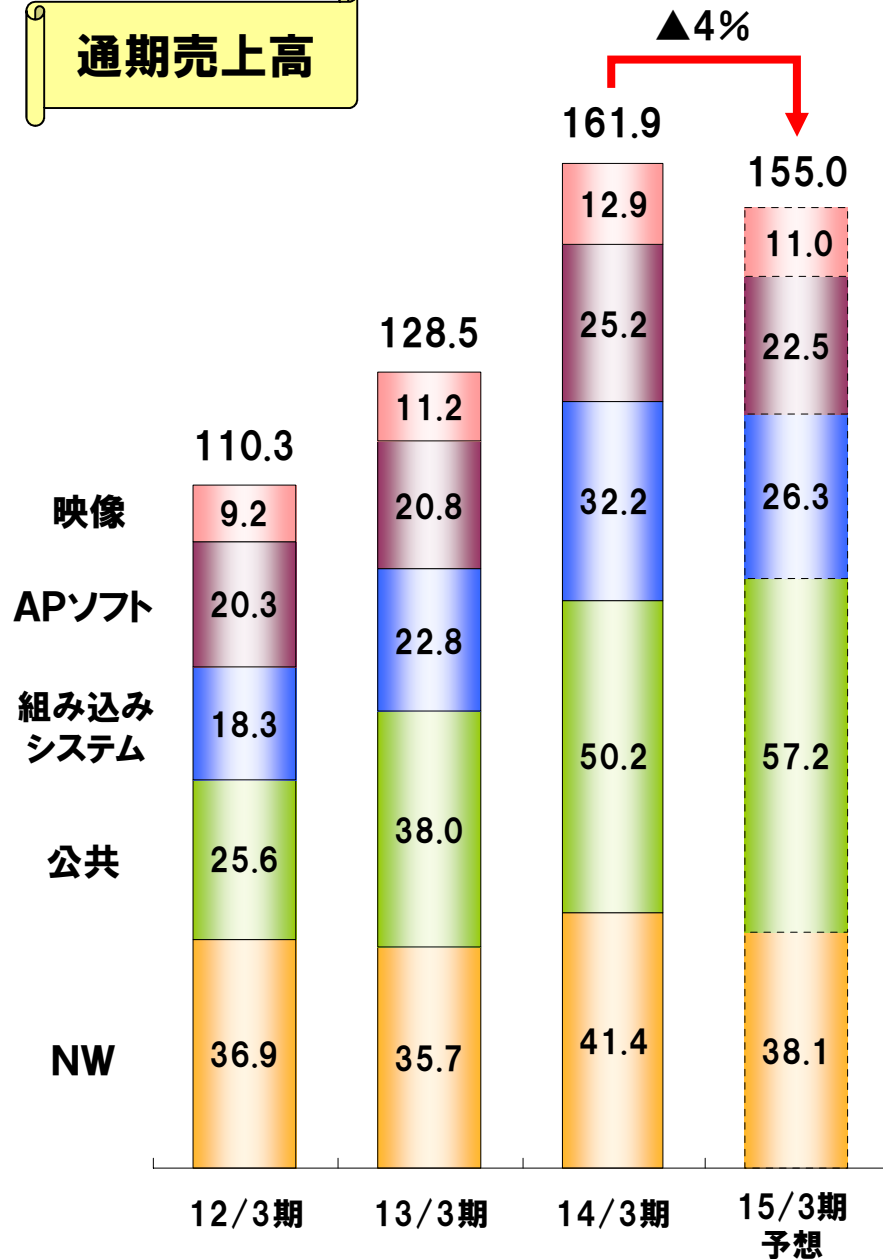


【前年同期比増減内容】

- NW**
 - 民間企業向けインフラ関連が減少
- 公共**
 - 学校/自治体向けIT投資が増加
- 組み込みシステム**
 - 監視測定カメラが減少
- APソフト**
 - APソフトはSI系の営業管理などが減少
- 映像**
 - IPTV、携帯映像送信機等の増加

	15年3月期1H予想	
	14/3期1H比	14/3期2H比
NW	▲10%	▲12%
公共	+62%	▲60%
組み込みシステム	▲21%	▲35%
APソフト	▲16%	▲13%
映像	+16%	▲49%

通期売上高



【前期比増減内容】

- NW
 - 民間企業向けインフラ関連が減少
- 公共
 - 消防/救急無線(デジタル化)が増加
- 組み込みシステム
 - 監視測定カメラが減少
- APソフト
 - APソフトはSI系の営業管理などが減少
- 映像
 - 送出システム等の大型案件の減少

	前期比
NW	▲8%
公共	+14%
組み込みシステム	▲18%
APソフト	▲11%
映像	▲15%